

令和8年度 インフルエンザ予防注射の予約について

今年度も、当クリニックを受診されているお子さんを対象に行います。接種に関する【注意事項】をご確認いただき、【予約方法】に従ってご予約ください。尚、待ち時間を短くしてスムーズな接種ができますよう、予約時間の厳守をお願いします。

【注意事項】

1. 予約受付開始は、令和8年9月中旬からを予定しています。予約受付システムが完備できたら予約を開始しますので、HPでのチェックをお願いします。
2. 接種期間は、令和8年10月5日～令和8年12月19日（予定）、この期間内の土曜日は午後2時～、また（月）（火）（水）（金）は午後3時15分からとなります。
3. 都合により接種時間帯の変更や実施できない日もありますので、予約画面でご確認下さい。
4. 1人でも多くのお子さんに接種したいと思いますので、大人の方はご遠慮下さい。
5. 接種日は、薬の処方や身体計測等はお断り致します。
6. 必ず診察券と母子手帳をお持ちください。
7. 問診票は、受付に年齢別に設置しております。またHPからもダウンロードできます。

【予約方法】

A. 通常の予防接種（注射）

- ① 当院のホームページにアクセスいただき、「うっ太郎(Uttaro)GENKI 手帳」から予約をお取りください。web 予約が不可能な方は受付でご相談下さい。操作方法の質問は、システム操作サポート（ビープラスシステムズ、TEL; 050-1746-2760）までお問い合わせください。
- ② 2回接種をご希望の方は、必ず1回目接種の予約と同時に3～4週後を目安に2回目の接種日もお取り下さい。2回目の接種日が決めにくい場合でも、ワクチン確保の点から2回目の接種希望日を1日だけお取りください。2回目接種の候補日を複数選択することはできません。接種回数については、Q&Aをご参照ください。
- ③ キャンセルまたは予約日時を変更される場合、web 予約システム（うっ太郎(Uttaro)GENKI 手帳）から手続きを行ってください。キャンセルのまま放置されますとワクチン確保は確約できませんのでご注意ください。
- ④ 接種費用は、1回3,500円（税込）です。

○鼻に噴霧する予防接種

- ① 全て直接またはお電話にて受付でお取りください。ネット予約はできません。
- ② 2～18歳のお子さんが対象で、全て1回接種です。
- ③ 数に限りがありますので、上限に達した場合はご了承ください。
- ④ キャンセルや予約の変更は、受付で直接またはお電話にて承ります。
- ⑤ ワクチンの詳細については、Q&Aをご参照ください。
- ⑥ 接種費用は、1回7,000円（税込）です。

インフルエンザワクチン Q & A

1. 何回接種が必要でしょうか？

日本では13歳以上、WHO（世界保健機構）や米国では9歳以上のお子さんには1回接種を推奨しています。一方、最近の研究では、「今までにインフルエンザに罹ったことがある」、「過去にインフルエンザワクチンを接種している」場合は、1回接種でも2回接種と同等の予防効果があったとされています。以上の状況から、1回接種でも効果が期待できますが、「国の推奨回数を順守する」、「インフルエンザの予防接種が初めて」、「しばらく接種していない」、「できるだけ予防したい」という方には2回接種がお勧めです。

2. インフルエンザワクチンの予防効果について

毎年流行するウイルスが変化することから完全に予防することは困難であること、予防効果としてはおおよそ50%程度とされていること、などから接種してもかかることがあります。一方で、肺炎や脳炎などかかっても重症化しないことが期待されますので、集団生活をされている方は接種されることをお勧めしています。

3. 2回接種の場合、接種の間隔は？

1回目から3～4週あけて2回目の接種をすることが基本です。また2回目の接種は1回目から遅くとも6週以内に接種されることをお勧めします。

4. 卵アレルギーなどがある場合は？

インフルエンザワクチンの製造過程で卵の一部が使用されていることから、卵アレルギーのある方には注意が必要との意見があります。しかしながら、実際には問題になることがほとんどないことから通常に接種をする場合が多いです。卵に対して強いアレルギーのある方は、事前にご相談下さい。

5. 鼻に噴霧するインフルエンザワクチン（フルミスト）について

- 1) 対象者は2～18歳（2歳未満、19歳以上は接種できません）、1回接種です。
- 2) 両鼻に1回ずつ噴霧しますが、痛みはありません。
- 3) 注射（不活化ワクチン）とは異なり、生ワクチン（弱毒化したウイルス）です。
- 4) 免疫不全の方、免疫抑制剤を使用されている方、妊娠中の方は接種できません。
- 4) 副反応；風邪症状（鼻汁・鼻閉、咳嗽、咽頭痛）がみられることがあります。
- 5) 注意点；鼻腔内に弱毒化したウイルスが存在するので、**接種後1～2週間は抵抗力の弱い高齢者や妊婦さんとの濃厚接触は避ける**ことが推奨されています。また喘息の方は、発作のコントロール状況などを主治医と相談した上で接種してください。

健康なお子さんで、注射を極端に嫌がる場合には有益であると言えます。ご質問があれば、当院スタッフに申し出てください。